『i-kids English Prep』のご採用を賜り、誠にありがとうございました。

ご利用にあたっての参考になればということで、「45分授業を想定した指導案」を作成いたしました。 一つの案としてご参考にしていただければと存じます。

指導案の中ではクラスやその日の様子に合わせて「余裕があれば…」「反応が鈍い場合や時間が足りない場合…」という二つのパターンまで想定しております。

『i-kids English Prep』は『i-kids English BOOK1 単語編・会話編』を再編集したテキストです。『i-kids English』商品ラインナップには『i-kids English BOOK1 単語編・会話編』に対応したピクチャーカードがございます。今回作成した指導案にも、授業展開を広げ、興味関心をひくツールとしてピクチャーカードの利用も含めて掲載をさせていただきました。

	Prepのレッスン	Boo	k1の	レッスン 使えるピクチャーカード
1	あなたの名前は何ですか			
2	アルファベット① アルファベットの大文字	単語	1	No.1 A ∼ No.26 Z
3	アルファベット② アルファベットの小文字	単語	2	No.27 a ∼ No.52 z
4	名詞① どういう人かを表す単語	単語	3	No.53 boy ~ No.60 teacher
5	元気ですか	会話	3	No.27 great ~ No.32 from America
6	形容詞① 人のようすを表す単語	単語	4	No.61 beautiful ~ No.68 young
7	名詞・形容詞① 色を表す単語	単語	5	No.69 black ~ No.76 yellow
8	名詞② くだものを表す単語	単語	6	No.77 apple ~ No.84 strawberry
9	わたしはりんごが大好きです	会話	6	No.39 melons ~ No.44 an orange skirt
10	名詞③ 動物を表す単語	単語	7	No.85 bird ~ No.92 rabbit
11	名詞・形容詞② 数を表す単語	単語	8	No.93 one ~ No.102 ten
12	名詞④ 身につけるもの・学用品を表す単語	単語	9	No.103 bag ~ No.110 T-shirt
13	あなたは犬が好きですか	会話	7	No.45 pandas ~ No.50 skiing
14	形容詞② 形やようすを表す単語	単語	10	No.111 dog ~ No.118 small
15	名詞⑤ 学校にあるものを表す単語	単語	11	No.119 blackboard ~ No.126 textbook
16	名詞⑥ 身の回りのものを表す単語	単語	12	No.127 chair ~ No.134 TV
17	あれは何ですか	会話	12	No.63 a stadium ~ No.68 your watch
18	名詞⑦ どんな仕事をしている人かを表す単語	単語	13	No.135 actor ~ No.142 player
19	名詞⑧ 家族を表す単語	単語	14	No.143 aunt ~ No.150 uncle
20	前置詞 場所を表す単語	単語	15	No.151 around ~ No.158 under
21	あなたはどこで勉強しますか	会話	15	No.81 cook ~ No.86 at home
22	動詞① 動作を表す単語	単語	16	No.159 dance ~ No.166 walk
23	動詞② 動作を表す単語	単語	17	No.167 clean ~ No.174 speak
24	名詞③ 教科を表す単語	単語	18	No.175 English ~ No.182 study
25	あなたのお気に入りの教科は何ですか	会話	18	No.93 music ~ No.98 Japanese
26	副詞 どんなふうにするのかなどを表す単語	単語	19	No.183 fast ~ No.190 well
27	名詞⑩ 曜日を表す単語	単語	20	No.191 Sunday ~ No.198 week
28	名詞・形容詞③ 数を表す単語	単語	21	No.199 eleven ~ No.208 twenty
29	あなたは何時に起きますか	会話	22	No.105 seven ~ No.110 go to bed
30	アクティビティ	単語	5 6 18	No.69 black ~ No.76 yellow No.77 apple ~ No.84 strawberry No.175 English ~ No.182 study

第1回

Lesson 1 「あなたの名前は何 ですか」

ねらい

名前の言い方を理解し、かんたんな英語のあいさつができるようにする。 クラスメートの名前を確認させる。

所要時間	指導内容	留意点
15分	 ① (001) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ→サイレントシャドーイング→マンブリング→発音練習の順に行います。※1 	 ・テキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、 小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は一斉(1文ずつ→1発言[セリフ]ずつ)→ グループ(半分サム役、半分エイミー役→役入れ替え)のようにパターンを変えて何回も行いましょう。
15分	② (002) と③ (003) でロールプレイング練習をさせます。 最初に先生が見本を示し(②でエイミーのセリフ,③で サムのセリフを言う),次に生徒に行わせます(一斉)。何 度か繰り返して暗記できたら,先生と生徒,隣同士や前後 の生徒等のペアワークをさせます。※2	 ・最初はテキストを見ながら行わせ、慣れてきたら、テキストを閉じて暗唱させましょう。 ・ペアワークでは、Sam と Amy のところを相手の名前に変えさせましょう。 ・余裕があれば、握手もさせてみましょう。
10分	④ (004) の音声を聞かせます。1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。先生と生徒, 隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。	 ・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせましょう。 ・発音練習は一斉(1文ずつ→1発言[セリフ]ずつ)→グループ(半分サム役、半分エイミー役→役入れ替え)のようにパターンを変えて何回も行いましょう。 ・余裕があれば、ジェスチャーもつけさせましょう。
5分 (まとめ)	 ② (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 答え合わせのときは、最初に先生が選択肢を発音し生徒に発音させて、意味を確認させます。 宿 題 (①~②の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。 	・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、② (002) と ③ (003) に英文の意味があることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・ ② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

 $\frac{1}{2}$ サイレントシャドーイングとは声を出さずに口真似(口を動かすだけで音声の真似)をすることで、マンブリングとは小声で繰り返す [音声の真似をする] ことです。動きが小さいので、真似がしやすくなります。

※2 最初に先生が見本を示す際, 英語がよくできて発音もよく, 先生役に向いた生徒がいたら, その生徒を指名して行わせてもよいでしょう。

第2回

Lesson 2 「アルファベット①」

ねらい

アルファベットの大文字の形と名前を理解させる。

※単語編Book①Lesson 1のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L1 ① (001) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリン グ)→一斉発音練習の順に行います。 生徒が発音練習をしている間に宿題の確認(音声を聞いた 曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ※1 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
25分	L2 ① ① (005) の音声 (アルファベットの名前) を聞かせて発音練習をさせます。 発音練習は一斉で、1 字→7 字ずつ (ABCDEFG → HIJKLMN → OPQRSTU → V, W, XYZ) →全 26 字と繰り返しのパターンを変えて複数回行います。 L2 ③ 大文字の書き方を確認させます。 再度発音練習をさせます。 余裕があれば、「きらきら星」のメロディーで練習させます。 ※2 宿題 (③ アルファベットの大文字をノートに書いてくること) を出します。	 ・テキストを見ながら発音を確認させましょう。 ・発音練習は、だんだんスピードアップさせましょう。 ・ 7字ずつ発音練習をさせるとき、V、W、XYZ はコンマ(,)でも1拍とりましょう。 ・大文字の書き方を説明したら、生徒を後ろ向きにさせて空中に文字を書かせ、正しく書けているか確認しましょう。 ・慣れてきたら、空中に文字を書きながら発音させましょう。
10分	L2 ① ② (006) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 L2 ② でフォニックスの素地を養います。アルファベット の名前と音は異なり、単語の発音はアルファベットの音を つなげたものなので、アルファベットの音を覚えることは、 知らない単語を読むときのヒントになることを理解させま す。	 ・テキストを見ながら発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉で、1字→5字ずつ(abcde → fghij → klmno → pqrst → uvw → xyz) →全 26 字とパターンを変えて複数回行いましょう。だんだんスピードアップさせましょう。 ・②は簡単な説明にとどめましょう。
5分 (まとめ)	() (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。答え合わせのときは、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。宿題 (1)の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、1のアルファベットの文字の下に発音が書かれていることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

<mark>※</mark>1 ほめ方

Excellent![エクセレントゥ] \rightarrow Great![グレイトゥ] \rightarrow Very good![ヴェリ グッドゥ] \rightarrow Good![グッドゥ] の順にランク分けをし、Good! でも大げさにほめましょう。

※2「きらきら星」のメロディーで発音練習

【簡単な歌い方の例】(日本人向けに歌いやすくアレンジされています)

ABCDEFG, HIJKLMN, 1字1拍, コンマ (,) や感嘆符 (!) や疑問符 (?) でも1拍とります。以下同様です。

OPQRSTU, V, W, XYZ,V, W, XYZ は V, W and XYZ でも OK。and[アンドゥ] は1拍で歌います。ABCDEFG, I can sing my ABC!下線部は [アイ キャン スィング マイ A B C] と7拍で歌います。

日本語で「もう歌えるよ、ABC」でもOK。

【難しい歌い方の例】(下線部で韻を踏んでいます。英語のリズムが実感できます)

ABCDEFG, HIJKLMNOP, LM[エレエム] と NO[エンノゥ] を各1拍で歌います。

QRS and TUV, W, X, Y and Z, and[アンドゥ] は1拍で歌います。

Now I know my ABC! [ナウ アイ ノウ マイ A B C] と発音します。I can sing my ABC! でも OK。

Won't you come and sing with <u>me</u>? [ウォン チュー カム アンドゥ スィング ウィズ ミー] と発音します。 日本語で「もうわかったよ, ABC」「今度はいっしょに歌おうね」でも OK。 第3回

Lesson 3 「アルファベット②」

ねらい

アルファベットの小文字の形と発音を理解させる。

※単語編Book①Lesson 2のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分(復習)	L2 1 ((005) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング)→一斉発音練習の順に行います。 生徒が発音練習をしている間に宿題の確認(3 アルファベットの大文字を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
25分	L3 ① (007) の音声 (アルファベットの名前) を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 L3 ③ 小文字の書き方を確認させます。 再度発音練習をさせます。 宿 題 (③ アルファベットの小文字をノートに書いてくること) を出します。	・テキストを見ながら発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉で、1字→7字ずつ→全26字とパターンを変えて複数回行いましょう。だんだんスピードを上げましょう。 ・小文字の書き方を説明したら、生徒を後ろ向きにさせて空中に文字を書かせて、正しく書けているか確認しましょう。 ・慣れてきたら、空中に文字を書きながら発音させましょう。 ・斧があれば、生徒にaから1文字ずつ言わせて、(苦手な生徒に配慮しつつ)zまでいけるか挑戦させてみましょう。正しく言えなかった生徒は、aと言って最初から始めます。
10分	L3 ① ② (008) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 L3 ② でフォニックスの素地を養います。サイレントeがあることを理解させます。 ※ 余裕があれば、単語の意味を説明します。 1 「名前」、2 「5 (の)」、3 「かわいい」、4 「鼻」	・テキストを見ながら発音を確認させましょう。 ・余裕があれば、巻頭(p.4)「〈単語編〉の使い方」3「アルファベットの読み方」で有声音と無声音の説明をし、のどに手を当てさせて確認させてもよいでしょう。 ・発音練習は一斉で、1字→5字ずつ→全26字とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・2は簡単な説明にとどめましょう。
5分 (まとめ)	 (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 答え合わせのときは、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。余裕があれば、単語の意味を説明します。 1「テープ」、2「自転車」、3「チューブ」、4「家」 宿題 (1の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。 	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、2の1~4 に対応していることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・ ② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点 チェック表」の色塗りをさせましょう。

*サイレントe(イー)

末尾が〈子音字+母音字+子音字+e〉という構成の単語で、母音字がアルファベットの名前の発音の場合、末尾の e は発音されないという決まりがあります。name は、〈n(子音字)+ a(アルファベットの名前 [エイ] の発音の母音字)+ m(子音字)+ e〉という構成なので、末尾の e が発音されません。

第4回

Lesson 4 「名詞①」

ねらい

人を表す名詞のつづりと発音、単語の書き方を理解させる。 英語は、2文字で1つの音を表すことがあることを理解させる。

※単語編Book①Lesson 3のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
10分(復習)	L3 ① ◆ (007) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 L3 ① ◆ (008) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング)→一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(③ アルファベットの小文字を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
10分	L4 ① (009) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング)→発音練習の順に行います。 宿 題 (③の単語を書いてくること)を出します。 単語の書き方について、文字と文字の間は空けず、語と語の間は少し空けることを説明します。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「boy」生徒「男の子」) ・余裕があれば、ピクチャーカードを使って先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させましょう。(例 先生「看護師のカードを示して」Singer?」生徒「No. Nurse.」)
20分	L4 ② (010) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング)→発音練習の順に行います。 テキストを開かせて、発音練習をさせます。 L4 ②でフォニックスの素地を養います。英語の発音は1字1音とは限らないことを理解させます。 子音の発音は、息が出ていることが重要なので、口の前で手を開かせ、息が出ているか確認させます。 たとえば、wh は風車を回すイメージで息を出すようにさせると理解しやすいかもしれません。	 ・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・次にテキストを見ながら発音を確認させましょう。 余裕があれば、巻頭 (p.4)「〈単語編〉の使い方」3「アルファベットの読み方」で有声音と無声音の説明をし、のどに手を当てさせて確認させてもよいでしょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・説明は短時間で済ませ、音声を聞かせたり発音させたりする時間をたくさんとるようにしましょう。
5分 (まとめ)	 (クイズ)に取り組ませ、答え合わせをします。 答え合わせのときは、最初に先生が選択肢を発音し、次に生徒に発音させます。 宿 題 (1)と2の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。 	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、②にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第5回

Lesson 5 「元気ですか」

ねらい

英語のあいさつができるようにする。 I'm …の表現を理解させる。

※会話編Book①Lesson 3のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
10分(復習)	L4 1 (009) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 L4 2 (010) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング)→一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(3 の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
10分	L5 1 (011) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリン グ)→発音練習の順に行います。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・発音練習は一斉(1 文ずつ→1 発言[セリフ]ずつ)→ グループ(半分サム役、半分エイミー役→役入れ替え) のようにパターンを変えて何回も行いましょう。
10分	L5 ② (012) と③ (013) でロールプレイング練習をさせます。 最初に先生が見本を示し(②でサムのセリフ, ③でエイミーのセリフを言う), 次に生徒に行わせます (一斉)。何度か繰り返して暗記できたら, 先生と生徒, 隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます	 ・最初はテキストを見ながら行わせ、慣れてきたら、テキストを閉じて暗唱させましょう。 ・ペアワークでは、Sam と Amy のところを相手の名前に変えさせましょう。 ・余裕があれば、ペアワークを発表させましょう。
10分	L5 4 (014) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 1と2について、発音練習をさせます。その後、先生と生徒、隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。	 ・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・次に音声を聞きながらテキストでつづりを確認させましょう。 ・1と2の発音練習は一斉(1文→対話)→グループ(半分サム役,半分エイミー役→役入れ替え)のようにパターンを変えて何回も行いましょう。 ・余裕があれば、ペアワークを発表させましょう。
5分	 ② (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 答え合わせのときは、最初に先生が選択肢を発音し、次に生徒に発音させて、意味を確認させます。 ・ How do you do?「はじめまして。」は初出なので、答え合わせのときに、改まった場面で使われる丁寧な表現であることを説明します。 宿 題 1~4の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること 	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、L1 ③ (p.6) に Nice to meet you. が、L5 ③ (p.14) に I'm fine, thank you. And you. が、4 (p.15) に good があることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・ ② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第6回

Lesson 6 「形容詞①」

ねらい

形容詞のつづりと発音を理解させる。 形容詞の使い方(aと名詞の間に置くこと)を理解させる。

※単語編Book①Lesson 4のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導內容	留意点
5分 (復習)	L5 1 (011) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリン グ)→一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L6 (1) (015) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング)→発音練習の順に行います。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「beautiful」生徒「美しい」) ・余裕があれば、ピクチャーカードを使って先生の間違いを直させましょう。(例 先生「〔「美しい」のカードを示して〕 Busy?」 生徒「No. Beautiful.」)
15分	L6②の1 (a lucky girl) ~ 4 (a cute cat) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。 〈紫色の枠の語【形容詞】+水色の枠の語【名詞】〉という単語の並べ方を説明し、日本語と同じ語順であることを理解させます。 各生徒に、①①と②から紫色の枠の語【形容詞】と水色の枠の語【名詞】を1つずつ選ばせて、〈a +形容詞+名詞〉の形で発音させ、意味を確認させます。 反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、先生が見本として形容詞を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が1の lucky を busy にかえて「a busy girl」と言い、生徒に「a busy girl」を繰り返させます。	・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させましょう。 ・次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1~4の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に形容詞と名詞を1つずつ選ばせて発音 [発表]させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。 ・a hungry flower「おなかがすいた花」等の不適切な組合せが発表されても「おもしろいね!」と言うにとどめ、否定 [修正] しないようにしましょう。 ・余裕があれば、先生がピクチャーカードを使って変えたい単語を示し、生徒に言わせましょう。たとえば、生徒が a lucky girl と言ったあとに、先生が busy のカードを示し、生徒に a busy girl と言わせます。
5分 (まとめ)	② (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。正解を発音させます。宿 題 (1の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第7回

Lesson 7 「名詞·形容詞①」

ねらい

色を表す語のつづりと発音を理解させ、形容詞の使い方に慣れさせる。 like「好き」、want「ほしい」という表現を理解させる。

※単語編Book①Lesson 5のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L6 ① ① (015) と② (016) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(③の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、 小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしと し、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練 習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L7 (1) (017) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング)→発音練習の順に行います。 宿 題 (3)の単語を書いてくること)を出します。 単語の書き方について、文字と文字の間は空けず、語と語の間は少し空けることを確認させます。 L7 (1) (2) (018) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「black」生徒「黒」) ・余裕があれば、ピクチャーカードを使って先生の間違いを直させてもよいでしょう。(例 先生「[青のカードを見せて] Black?」生徒「No. Blue.」) ・余裕があれば、教室の中にあるものの色を言わせてみましょう。国旗を使うと、"We Can!"対応の授業になります。 (例 先生「What color is this?」生徒「Red.」)
15分	L7 ②の1 (a yellow bag) ~ 4 (want blue shoes) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。〈紫色の枠の語【形容詞】+水色の枠の語【名詞】〉と〈緑色の枠の語【動詞】+水色の枠の語【名詞】〉と〈緑色の枠の語【動詞】+紫色の枠の語【形容詞】+水色の枠の語【名詞】〉という単語の並べ方を説明します。各生徒に、①①と②から色を表す語【名詞】【形容詞】と水色の枠の語【名詞】を1つずつ選ばせて、〈like +名詞〉と〈want (a) +形容詞+名詞〉の形で発音させ、意味を確認させます。 orange の場合は an orange ~とするよう注意させます。 反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、先生が見本として色を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が1の yellow を red にかえて「a red bag」と言い、生徒に「a red bag」を繰り返させます。	・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1~4の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に形容詞と名詞を1つずつ選ばせて発音 [発表]させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。 ・〈want ×a +形容詞 + pants[shoes / socks]〉「○色のズボン [くつ (たち) / ソックス (たち)]」のように複数形に a をつけてしまった場合は、「a はいらないよ!」と言って、a を削除して発音練習をさせましょう。 ・余裕があれば、先生がピクチャーカードを使って変えたい単語を示し、生徒に言わせましょう。たとえば、生徒が a yellow bag と言ったあとに、先生が red のカードを示し、生徒に a red bag と言わせます。
5分 (まとめ)	② (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 正解を発音させます。宿 題 (1の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第8回

Lesson 8 「名詞②」

ねらい

くだものを表す語のつづりと発音を理解させ,名詞には複数形がある ことを理解させる。

don't like「好きではない」という表現を理解させる。

※単語編Book①Lesson 6のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L7 1 1 (017) と ② (018) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(3 の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L8 ① ① (019) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) →発音練習の順に行います。 宿 題 (3 の単語を書いてくること)を出します。 単語の書き方について、文字と文字の間は空けず、語と語の間は少し空けることを確認させます。 L8 ① ② (020) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。	 ・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。(例 先生「apple」生徒「りんご」) ・余裕があれば、ピクチャーカードを使って先生の間違いを直させてもよいでしょう。(例 先生「〔さくらんぽのカードを見せて〕 Apple?」生徒「No. Cherry.」)
15分	L8 ②の1 (like bananas) ~ 4 (like lemon pie) について、最初に先生が発音し、生徒に発音させます。 〈like + 名詞の複数形〉と〈don't like + 名詞の複数形〉、そして〈水色の枠の語【名詞】+ 水色の枠の語【名詞】〉という単語の並べ方を説明し、赤色の枠の語【助動詞】や緑色の枠の語【動詞】の位置が日本語と異なることを理解させます。 各生徒に、1 ①と②から like か don't like とくだものを表す語【複数形】かくだものを表す語【単数形】と、juice か pie を選ばせて、〈(don't) like + くだものを表す語【複数形】〉か〈(don't) like + くだものを表す語【単数形】 + juice か pie〉の形で発音させ、意味を確認させます。 反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。 たとえば、先生が1の bananas を apples にかえて「like apples」と言い、生徒に「like apples」を繰り返させます。	・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1~4の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に形容詞と名詞を1つずつ選ばせて発音 [発表]させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。 ・〈*apples+juice[pie]〉のように複数形に juice や pie をつけてしまった場合は、「s はいらないよ!」と言って、単数形にして発音練習をさせましょう。 ※カットフルーツについて言う場合等は〈(don't) like +くだものを表す語【単数形】〉も OK です。「s がついた形でも言ってみよう!」と言って、複数形で発音練習をさせましょう。 ・余裕があれば、先生がピクチャーカードを使って変えたい単語を示し、生徒に言わせましょう。たとえば、生徒が like bananas と言ったあとに、先生が apple のカードを示し、生徒に like apples と言わせます。
5分 (まとめ)	② (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。正解を発音させます。宿 題 (①の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第9回

Lesson 9 「わたしはりんごが 大好きです」

ねらい

好きなものやほしいものをたずねたり答えたりできるようにする。

※会話編Book①Lesson 6のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分(復習)	L8 ① ◆ (019) と ◆ (020) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(③の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
10分	L9 () (021) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリン グ)→発音練習の順に行います。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・発音練習は一斉(1 文→対話)→グループ(半分サム役、 半分エイミー役→役入れ替え)のようにパターンを変え て何回も行いましょう。
15分	L9 ② (022) と③ (023) でロールプレイング練習をさせます。 最初に先生が見本を示し(②でサムのセリフ, ③でエイミーのセリフを言う), 次に生徒に行わせます (一斉)。何度か繰り返して暗記できたら, 先生と生徒, 隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。	 ・最初はテキストを見ながら行わせ、慣れてきたら、テキストを閉じて暗唱させましょう。 ・ペアワークでは、Sam のところを相手の名前に変えさせましょう。 ・余裕があれば、ペアワークを発表させましょう。
10分	L9 4 (024) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 1と2について、発音練習をさせます。その後、先生と生徒、隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・次に音声を聞きながらテキストでつづりを確認させましょう。 ・1と2の発音練習は一斉(1 文→1 発言[セリフ]→対話) →グループ(半分サム役,半分エイミー役→役入れ替え) のようにパターンを変えて何回も行いましょう。 ・余裕があれば、ペアワークを発表させましょう。
5分 (まとめ)	 () (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 答え合わせのときは、最初に先生が選択肢を発音し、次に生徒に発音させて、意味を確認させます。 宿 題 (1) ~ (4) の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること 	・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、L9 ③にI like apples very much. と I like green apples, too. が、L9 ④に What do you like [want]? があることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・ ● (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第10回

Lesson 10 「名詞③」

ねらい

動物を表す語のつづりと発音を理解させる。 〈動詞+名詞〉の語順に慣れさせる。

※単語編Book①Lesson 7のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L9 1 (021) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリン グ)→一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L10 ① ① (025) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) →発音練習の順に行います。 宿 題 (③の単語を書いてくること)を出します。 単語の書き方について,文字と文字の間は空けず,語と語の間は少し空けることを確認させます。 L10 ① ② (026) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「bird」生徒「鳥」) ・余裕があれば、ピクチャーカードを使って Lesson7、8の要領で先生の英語の間違いを直させてもよいでしょう。(例 先生「〔コアラのカードを見せて〕 Panda?」生徒「No. Koala.」)
15分	L10 ② の 1 (have a dog) ~ 4 (like rabbits very much) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。動詞 have, want, like の意味を説明し、動詞が変わっても〈動詞+名詞〉の語順であることを確認させます。各生徒に、① ①と②から単語を選ばせて、〈have か want + a +名詞【単数形】〉か〈like +名詞【複数形】 + (very much)〉の形で発音させ、意味を確認させます。反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が 1 の dog を cat にかえて「have a cat」と言い、生徒に「have a cat」を繰り返させます。	・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1~4の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に単語を選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。 ・〈×a+birds〉のように複数形にaをつけてしまったり、単数形にaがついていなかったりした場合は、「aはいらないよ!」「aをつけようね!」のように言って、正しい形に修正して発音練習をさせましょう。 ・余裕があれば、先生がピクチャーカードを使って変えたい単語を示し、生徒に言わせましょう。たとえば、生徒が have a dog と言ったあとに、先生が cat のカードを示し、生徒に have a cat と言わせます。
5分 (まとめ)	(① (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 正解を発音させます。宿 題 (①の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・⑥ (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第11回

Lesson 11「名詞·形容詞②」

ねらい

数を表す語のつづりと発音を理解させる。 名詞の複数形に慣れさせる。

※単語編Book①Lesson 8のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L10 1 ((025) と ((026) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(3 の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、 小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L11 ① ◆ (027) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) →発音練習の順に行います。 宿 題 (③の単語を書いてくること)を出します。 単語の書き方について,文字と文字の間は空けず,語と語の間は少し空けることを確認させます。 L11 ① ◆ (028) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「one」 生徒「1」) ・余裕があれば、先生が任意の数字や教場の電話番号等をボードに書いて生徒に言わせたり、10からカウントダウンさせたりしてもよいでしょう。0は未習なので、zero[ズィロウ]と発音することを説明しましょう。
15分	L11 ② の 1 (one box) ~ 4 (have four cats) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。 〈one + 名詞【単数形】〉と〈two[three, … ten] + 名詞【複数形】〉という単語の並べ方を説明し、単数形と複数形の使い分けを確認させます。 各生徒に、① ① と② から数を表す語と水色の枠の語【名詞】を選ばせて、〈数を表す語 + 名詞〉の形で発音させ、意味を確認させます。 余裕があれば、前に want か have をつけて〈want[have] + 数を表す語 + 名詞〉の形で発音させ、意味を確認させます。 反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が1のboxをguitarにかえて「one guitar」と言い、生徒に「one guitar」を繰り返させます。	・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1~4の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に数詞と名詞を1つずつ選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。・〈one+ * 名詞の複数形〉や〈two 以上+ * 名詞の単数形〉のように組合せを間違えてしまった場合は、「s はいらないよ!」「s をつけようね!」のように言って、正しい形に修正して発音練習をさせましょう。・余裕があれば、先生がピクチャーカードを使って変えたい単語を示し、生徒に言わせましょう。たとえば、生徒がwant three rackets と言ったあとに、先生がfourのカードを示し、生徒に want four rackets と言わせます。
5分 (まとめ)	③ (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 正解を発音させます。宿 題 (①の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第12回

Lesson 12 「名詞④」

ねらい

身につけるもの・学用品を表す語のつづりと発音を理解させる。 名詞の単数形と複数形の使い分けの理解を深めさせる。

※単語編Book①Lesson 9のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L11 1 ① (027) と ② (028) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング)→一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(③ の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L12 (1 (1 (029)) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング) →マンブリング→発音練習の順に行います。	 ・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「bag」生徒「かばん」)
15分	L12 ②の1 (red shoes) ~ 4 (want a notebook) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。 〈a[an] (+形容詞) +名詞【単数形】〉と〈two[three, …ten] +名詞【複数形】〉という単語の並べ方と、単数形と複数形の使い分けを確認させます。 an は「English の前では an を使います」と説明します。pens は初出なので、発音 [penz] をしつかり説明します。各生徒に、①①と②から紫色の枠の語【形容詞】と水色の枠の語【名詞】を選ばせて、〈色を表す語+shoes〉〈have+数を表す語+pens〉〈want a+名詞【単数形】〉の形で発音させ、意味を確認させます。 反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が1の red を black にかえて「black shoes」と言い、生徒に「black shoes」を繰り返させます。	・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1~4の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に数詞と名詞を1つずつ選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。・〈one+ *名詞の複数形〉や〈two 以上+ *名詞の単数形〉のように組合せを間違えてしまった場合は、「s はいらないよ!」「sをつけようね!」のように言って、正しい形に修正して発音練習をさせましょう。・余裕があれば、先生がボードに a と 1~5の数字を書いておき、言わせたい単語を指して生徒に言わせましょう。たとえば、生徒が have three pens と言ったあとに、先生が5を指し、生徒に have five pens と言わせます。ときどき a と 1 を指して、生徒に have a [one] pen と単数形に変えて言わせます。
5分 (まとめ)	② (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。正解を発音させます。宿 題 (1の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・ ② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第13回

Lesson 13 「あなたは犬が好き ですか」

ねらい

好きなものや好きではないものを伝えたり、たずねたり答えたりでき るようにする。

※会話編Book①Lesson 7のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L12 ① ① (029) と② (030) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(③の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
10分	L13 1 (031) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリン グ)→発音練習の順に行います。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・発音練習は一斉(1 文ずつ→1 発言[セリフ]ずつ)→ グループ(半分サム役、半分エイミー役→役入れ替え) のようにパターンを変えて何回も行いましょう。
15分	L13 ② (032) と③ (033) でロールプレイング練習をさせます。 最初に先生が見本を示し(②でエイミーのセリフ, ③でサムのセリフを言う),次に生徒に行わせます(一斉)。何度か繰り返して暗記できたら,先生と生徒,隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。	 ・最初はテキストを見ながら行わせ、慣れてきたら、テキストを閉じて暗唱させましょう。 ・ペアワークでは、Sam と Amy のところを相手の名前に変えさせましょう。 ・余裕があれば、ペアワークを発表させましょう。
10分	 L13 4 (034) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 1と2について、発音練習をさせます。その後、先生と生徒、隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。 	 ・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・次に音声を聞きながらテキストでつづりを確認させましょう。 ・1と2の発音練習は一斉(1 文→1 発言[セリフ]→対話) → グループ(半分サム役,半分エイミー役→役入れ替え) のようにパターンを変えて何回も行いましょう。 ・余裕があれば、ペアワークを発表させましょう。
5分 (まとめ)	 (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 答え合わせのときは、最初に先生が選択肢を発音し、次に生徒に発音させて、意味を確認させます。 宿題 1~4の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること 	・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、L13 ② (p.30) に Oh, do you like dogs, Amy? と I like cats. が、L9 ② (p.22) に What do you want? と L9 ④ (p.23) に What do you like? があることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・ ⑥ (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第14回

Lesson 14 「形容詞②」

ねらい

形やようすを表す語のつづりと発音を理解させる。 形容詞の使い方の理解を深めさせる。

※単語編Book①Lesson 10のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L13 ① (031) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング)→一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L14 ① (035) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング)→発音練習の順に行います。 宿 題 (③の単語を書いてくること)を出します。 単語の書き方について,文字と文字の間は空けず,語と語の間は少し空けることを確認させます。 L14 ① ② (036) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「big」 生徒「大きい」) ・余裕があれば、ピクチャーカードを使って先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させましょう。(例 先生「長い [短い] のカードを示して〕Long?」 生徒「Yes. Long.[No. Short.]」)
15分	L14 ②の1 (small shoes) ~ 4 (have an old car) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。動詞 have, want の意味と、(動詞+a[an]+形容詞+名詞〉という語順を確認させます。各生徒に、1 ①と②から単語を選ばせて、〈want a + old 以外の形容詞+名詞【単数形】〉か〈have an old +名詞【単数形】〉の形で発音させ、意味を確認させます。ここでは、「old の前は an だよ」程度の説明にとどめます。反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が3の big を small にかえて「want a small bag」と言い、生徒に「want a small bag」と言い、生徒に「want a small bag」を繰り返させます。	・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1~4の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に単語を選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。 ・〈want *a big shoes[pants]〉のように複数形を使ってしまった場合は、「shoes や pants のときは a をとろうね!」のように言って、正しい形に修正して発音練習をさせましょう。 ・余裕があれば、先生がピクチャーカードを使って変えたい単語を示し、生徒に言わせましょう。たとえば、生徒がwant a big bag と言ったあとに、先生がsmall のカードを示し、生徒に want a small bag と言わせます。
5分 (まとめ)	② (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。正解を発音させます。宿 題 (①の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第15回

Lesson 15 「名詞⑤」

ねらい

学校にあるものを表す語のつづりと発音を理解させる。 aとanの使い分けを理解させる。

※単語編Book①Lesson 11のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分(復習)	L14 1 1 (035) と (036) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング)→一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(3 の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L15 ① (037) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング)→発音練習の順に行います。 宿題(③の単語を書いてくること)を出します。 単語の書き方について,文字と文字の間は空けず,語と語の間は少し空けることを確認させます。 L15 ① (038) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「blackboard」 生徒「黒板」) ・余裕があれば、ピクチャーカードを使って先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させましょう。(例 先生「〔大学のカードを示して〕 Clock?」 生徒「No. College.」先生「〔絵の中の時計を指して〕 Yes. Clock.」)
15分	L15 ②の1 (an old clock) ~ 4 (have a computer) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。 L3 のアルファベットの小文字のうち、赤字(母音)の発音で始まる語の前では、a ではなく an が使われることを説明し、old は o (赤字) の発音で始まる語なので an が使われることを理解させます。 各生徒に、① ②と②から紫色の枠の語【形容詞】と水色の枠の語【名詞】を選ばせて、〈a + large か new + 名詞〉か〈an old + 名詞〉の形で発音させ、意味を確認させます。 反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が1の clock を computer にかえて「an old computer」と言い、生徒に「an old computer」を繰り返させます。	・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1~4の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に形容詞と名詞を1つずつ選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。 ・〈×a+old〉のように組合せを間違えてしまった場合は、正しい形に修正して発音練習をさせましょう。 ・余裕があれば、p.4「単語編の使い方」の3「アルファベットの読み方」で母音の説明をし、L12 ②2のan English book に言及して、EnglishもE(L2で赤字表記)の発音で始まる語なので、anが使われると説明してもよいでしょう。
5分 (まとめ)	② (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。正解を発音させます。宿 題 (1の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第16回

Lesson 16 「名詞⑥」

ねらい

身の回りのものを表す語のつづりと発音を理解させる。 myとyourの使い方を理解させる。

※単語編Book①Lesson 12のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L15 1 ① (037) と ② (038) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング)→一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(③ の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L16 (1) (039) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング)→発音練習の順に行います。 電 題 (3)の単語を書いてくること)を出します。 単語の書き方について、文字と文字の間は空けず、語と語の間は少し空けることを確認させます。 L16 (1) (040) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「chair」 生徒「いす」) ・余裕があれば、ピクチャーカードを使って先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させましょう。(例 先生「いす「テーブル」のカードを示して〕Chair?」 生徒「Yes. Chair.[No. Table.]」)
15分	L16 2 の1 (a big station) ~ 4 (my new chair) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。 my は「わたしの」という意味で、your は「あなたの」という意味で、どちらも名詞といっしょに置いて使われることを理解させます。 各生徒に、 1	・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1~4の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に形容詞と名詞を1つずつ選ばせて発音 [発表]させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。 ・〈×a+my[your]〉のように間違えてしまった場合は、正しい形に修正して発音練習をさせましょう。 ・余裕があれば、aとmyとyourの使い分けの練習をさせましょう。たとえば、生徒にacupと言わせたあとに先生が「わたしの [あなたの] カップ」と言い、生徒にMy[Your] cup.と言わせます。
5分 (まとめ)	② (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。正解を発音させます。宿 題 (1の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第17回

Lesson 17「あれは何ですか」

ねらい

近くにあるものや遠くにあるものについてたずねたり答えたりできるようにする。

※会話編Book (Lesson 12のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分(復習)	L16 ① ◆ (039) と ◆ (040) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(③の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、 小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしと し、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練 習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
10分	L17 1 (041) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリン グ)→発音練習の順に行います。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・発音練習は一斉(1 文ずつ→1 発言[セリフ]ずつ)→ グループ(半分サム役、半分めぐみ役→役入れ替え)の ようにパターンを変えて何回も行いましょう。
15分	L17 ② (042) と③ (043) でロールプレイング練習をさせます。 最初に先生が見本を示し(②でめぐみのセリフ, ③でサムのセリフを言う),次に生徒に行わせます(一斉)。何度か繰り返して暗記できたら,先生と生徒,隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。	 ・最初はテキストを見ながら行わせ、慣れてきたら、テキストを閉じて暗唱させましょう。 ・ペアワークでは、Megumiのところを相手の名前に変えさせましょう。 ・余裕があれば、ペアワークを発表させましょう。
10分	L17 4 (044) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 this「これ」、that「あれ」、it「それ」は初出なので、しつかり意味を説明します。 this:近くにあるものを指す that:離れているものを指す it:前に話に出た1つのものを指す。日本語に訳さないほうが自然な場合が多い 1と2について、発音練習をさせます。その後、先生と生徒、隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・次に音声を聞きながらテキストでつづりを確認させましょう。 ・1と2の発音練習は一斉(1文→1発言[セリフ]→対話) →グループ(半分サム役,半分めぐみ役→役入れ替え) のようにパターンを変えて何回も行いましょう。 ・余裕があれば、ペアワークを発表させましょう。 ・余裕があれば、ペアワークを発表させましょう。 ・余裕があれば、先生が教室内にあるものを指して What is this[that]?とたずねて生徒に答えさせたり、生徒に What is this[that]?とたずねさせて先生や別の生徒に答えさせたりしましょう。
5分 (まとめ)	 (クイズ)に取り組ませ、答え合わせをします。 答え合わせのときは、最初に先生が選択肢を発音し、次に生徒に発音させて、意味を確認させます。 宿題 1~4の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること 	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、L17 4 に Is this …? と What is that? が、L9 2 (p.22) に What do you want? があることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第18回

Lesson 18 「名詞①」

ねらい

職業を表す語のつづりと発音を理解させる。

代名詞の主格he, she, we, they, youの意味と使い方を理解させる。

※単語編Book①Lesson 13のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L17 1 (041) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリン グ)→一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L18 ① (045) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング)→発音練習の順に行います。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「actor」 生徒「俳優」) ・余裕があれば、ピクチャーカードを使って先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させましょう。(例 先生「〔ダンサー [歯医者] のカードを示して〕Dancer?」生徒「Yes. Dancer.[No. Dentist.]」)
15分	L18 ② の 1 (She is a pianist.) ~ 3 (He is a cool actor.) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。代名詞 he, she, we, they, you 「あなたたち」は初出なので、意味をしっかり説明し、〈He[She] is a +名詞【単数形】.〉という形と〈We[They / You] are +名詞【複数形】.〉という形を確認させます。各生徒に、① ①と②から単語を選ばせて、〈She か He + is + a + 名詞【単数形】〉か〈We か They か You + are dancers.【複数形】〉の形で発音させ、意味を確認させます。dancers も初出なので、s の発音 [z] に注意させます。American は an American ~とするよう注意させます。反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が1の pianist を dancer にかえて「She is a dancer.」と言い、生徒に「She is a dancer.」を繰り返させます。	・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1~3の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に単語を選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。 ・余裕があれば、②3の〈He[She] is a[an] +形容詞+名詞〉の形でも発音させ、意味を確認させましょう。a[an] の脱落等の誤りは、正しい形に修正して発音練習をさせましょう。。 ・余裕があれば、先生が生徒の名前を言い、男子の場合はHe is a student、と女子の場合は She is a student、と生徒に言わせて、he と she の使い分けを練習させてもよいでしょう。 ・余裕があれば、有名人の写真を用意して、先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させてもよいでしょう。(例先生「[男性の [女性の] サッカー選手の写真を見せて〕He[She] is a pilot.」生徒「No. He[She] is a soccer player.]」)
5分 (まとめ)	 (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 正解を発音させます。 players も初出なので、s の発音 [z] を説明します。 宿 題 (1の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。 	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・⑥ (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第19回

Lesson 19 「名詞®」

ねらい

家族や親せき(間柄)を表す語のつづりと発音を理解させる。 代名詞の所有格his, her, their, my, your, ourの意味と使い方を理解 させる。

※単語編Book①Lesson 14のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L18 1 () (045) と () (046) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認((3)の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、 小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L19 ① (047) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング) →発音練習の順に行います。 宿 題 (③の単語を書いてくること)を出します。 単語の書き方について,文字と文字の間は空けず,語と語の間は少し空けることを確認させます。 L19 ① (048) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 代名詞の所有格 his, her, their, our は初出なので,しっかり意味を説明します。their は,理解が難しいようであれば,「彼らの」という意味だけの説明にとどめます。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「aunt」生徒「おば」) ・余裕があれば、ピクチャーカードを使って先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させましょう。(例 先生「ほば [おじ] のカードを示して〕Aunt?」 生徒「Yes. Aunt. [No. Uncle.]」)
15分	L19 ②の1 (my brother) ~ 6 (know her father) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。名前に's (アポストロフィ・エス) がついた形は初出なので、「○○の」という意味になることを説明します。各生徒に、① ① と②から青色の枠の語【代名詞】と水色の枠の語【名詞】を選ばせて、〈his か her か their か my か your か our +名詞〉か〈Ken's +名詞〉の形で発音させ、意味を確認させます。 反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が4の aunt を father にかえて「his father」と言い、生徒に「his father」を繰り返させます。	・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1~6の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に代名詞と名詞を1つずつ選ばせて発音 [発表]させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。 ・余裕があれば、Ken's を Sam's や Amy's 等に変えて発音させてもよいでしょう。
5分 (まとめ)	(① (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 正解を発音させます。宿 題 (①の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第20回

Lesson 20 「前置詞」

ねらい

場所を表す語(前置詞)のつづりと発音を理解させる。前置詞の使い方を理解させる。

※単語編Book①Lesson 15のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L19 1 ◆ (047) と ◆ (048) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(3 の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L20 ① ① (049) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) →発音練習の順に行います。 宿 題 (③の単語を書いてくること) を出します。 単語の書き方について, 文字と文字の間は空けず, 語と語の間は少し空けることを確認させます。 L20 ① ② (050) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。	 ・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「around」生徒「~のまわり」)
15分	L20 ②の1 (on the table) ~ 6 (live in Tokyo) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。各生徒に、①②から水色の枠の語【名詞】を選ばせて、〈onかりかので発音させ、意味を確認させます。定冠詞 the は初出なので、発音に注意させます。※1 定冠詞の説明は、「『その』という意味ですが、訳さないことが多いです」という程度にとどめます。反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が1のtableをchairにかえて「on the chair」と言い、生徒に「on the chair」を繰り返させます。・余裕があれば、次のフレーズの意味を確認させ、一斉で発音練習をさせます。※2 on the desk in the box by the window on the table in the desk by the door on the wall in the park	・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1~6の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に名詞を1つずつ選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。・on the hospital 「病院の上」のような不適切な組合せが発表されても、「おもしろいね!」と言うにとどめ、否定 [修正] しないようにしましょう。
5分 (まとめ)	() (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 正解を発音させます。宿 題 (①の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・ ② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

※1 the の発音指導は、最初は外から見えて理解しやすいように、舌を上下の歯ではさんで声を出させるようにします。 余裕があれば、「テーブル」と言えば「(テーブルは1つしかないから等の理由で) そのテーブルのことだな」とわかる状況のときに the を使いますと詳しく説明してもよいでしょう。

※2 in the desk は「机の(引き出しの)中」, on the wall は「かべに(くっついて)」という意味であることを説明しましょう。

第21回

Lesson 21 「あなたはどこで勉 強しますか」

ねらい

場所についてたずねたり答えたりできるようにする。

※会話編Book①Lesson 15のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分(復習)	L20 1 () (049) と () (050) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング)→一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(3 の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
10分	L21 1 (051) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリン グ)→発音練習の順に行います。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・発音練習は一斉(1 文ずつ→1 発言[セリフ]ずつ)→ グループ(半分アン役、半分めぐみ役→役入れ替え)の ようにパターンを変えて何回も行いましょう。
15分	L21 2 (052) と 3 (053) でロールプレイング練習をさせます。 最初に先生が見本を示し(2 でめぐみのセリフ, 3 でアンのセリフを言う),次に生徒に行わせます(一斉)。何度か繰り返して暗記できたら,先生と生徒,隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。 on Saturdays「土曜日に」,usually「たいてい」,study「勉強する」は初出なので,しっかり意味を説明します。	 ・最初はテキストを見ながら行わせ、慣れてきたら、テキストを閉じて暗唱させましょう。 ・ペアワークでは、Megumiのところを相手の名前に変えさせましょう。 ・余裕があれば、ペアワークを発表させましょう。
10分	 L20 4 (054) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 1と2について、発音練習をさせます。その後、先生と生徒、隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。 	・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・次に音声を聞きながらテキストでつづりを確認させましょう。 ・1と2の発音練習は一斉(1文→対話)→グループ(半分アン役,半分めぐみ役→役入れ替え)のようにパターンを変えて何回も行いましょう。 ・余裕があれば、ペアワークを発表させましょう。
5分 (まとめ)	 ● (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 答え合わせのときは、最初に先生が選択肢を発音し、次に生徒に発音させて、意味を確認させます。 宿 題 ①~④の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること 	・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、L21 ②に Then what do you do on Saturdays? と Where do you study English? が、L13 ② (p.30) に Oh, do you like dogs, Amy? があることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・ ② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第22回

Lesson 22 「動詞①」

ねらい

一般動詞のつづりと発音を理解させる。 代名詞の目的格me, her, him, themの意味を理解させる。

※単語編Book①Lesson 16のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L21 ① (051) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリン グ)→一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L22 (1 (1) (055) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) →発音練習の順に行います。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。(例 先生「dance」生徒「おどる」)・余裕があれば、ピクチャーカードを使って先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させましょう。(例 先生「〔おどる [食べる] のカードを示して〕Dance?」生徒「Yes. Dance.[No. Eat.]」)
15分	L22 ②の1 (eat lunch) ~5 (walk with her) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。語順が日本語と逆(日本語は「…を~する」という語順だが、英語は〈「~する…を」〉の語順)になることを確認させます。 代名詞の目的格 me, her, him, them は初出なので、しつかり意味を説明します。 各生徒に、①① と② から緑色の枠の語【動詞】と青色の枠の語【代名詞】を選ばせて、〈動詞+ with か to +代名詞〉の形で発音させ、意味を確認させます。 反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が1の lunch を breakfast にかえて「eat breakfast」と言い、生徒に「eat breakfast」を繰り返させます。	・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1~5の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に単語を選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。 ・help with me[her] が発音 [発表] されたときは、「わたし [彼女] の手伝いをする」という意味になることを説明しましょう。 ・run[walk] to me[her] が発音 [発表] されたときは、「わたしのところへ走ってくる [歩いてくる]」「彼女のところへ走ってくる [歩いてくる]」「彼女のところへ走っていく [歩いていく]」という意味になると説明しましょう。
5分 (まとめ)	() (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 正解を発音させます。宿 題 (1)の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第23回

Lesson 23 「動詞②」

ねらい

一般動詞の語彙を増やし、一般動詞の使い方の理解を深める。

※単語編Book Lesson 17のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分(復習)	L22 1 () (055) と () (056) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(3 の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、 小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしと し、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練 習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L23 ① ① (057) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング)→発音練習の順に行います。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。(例 先生「clean」生徒「そうじする」)・余裕があれば、ピクチャーカードを使って先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させましょう。(例 先生「〔そうじする [しめる] のカードを示して〕Clean?」生徒「Yes. Clean.[No. Close.]」)
15分	L23 ② の 1 (speak Japanese) ~ 6 (come to my house) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。各生徒に、①②から水色の枠の語【名詞】を選ばせて、〈speak +名詞〉か〈open the +名詞〉か〈make a +名詞〉か〈go to the +名詞〉か〈come to my +名詞〉の形で発音させ、意味を確認させます。 反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が1の Japanese を English にかえて「speak English」と言い、生徒に「speak English」を繰り返させます。	・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1~6の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に動詞と名詞を1つずつ選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。・speak cake 「ケーキを話す」のような不適切な組合せが発表されても、「おもしろいね!」と言うにとどめ、否定 [修正] しないようにしましょう。
5分 (まとめ)	② (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。正解を発音させます。宿 題 (①の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第24回

Lesson 24 「名詞⑨」

ねらい

教科を表す語のつづりと発音を理解させる。 「~できる」という表現を理解させる。

※単語編Book①Lesson 18のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L23 ① ◆ (057) と ◆ (058) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(③の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L24 (1 (1) (059) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング) →発音練習の順に行います。 1 (1) (2) (3) の単語を書いてくること)を出します。 単語の書き方について、文字と文字の間は空けず、語と語の間は少し空けることを確認させます。 L24 (1) (2) (060) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「English」 生徒「英語」) ・余裕があれば、ピクチャーカードを使って先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させましょう。(例 先生「〔音楽 [体育] のカードを示して〕 Music?」 生徒「Yes. Music.[No. P.E.]」)
15分	L24 ②の1 (study math) ~4 (my favorite subject) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。各生徒に、最初に①①からオレンジ色か水色の枠の語【名詞】を選ばせて、〈study +名詞〉の形で発音させ、意味を確認させます。次に、①②と②から緑色の枠の語【動詞】を選ばせて、〈can +動詞 + English〉の形で発音させ、意味を確認させます。 can は初出なので、〈can +動詞〉の形で使うことをしつかり説明します。 反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が4のsubjectをsportにかえて「my favorite sport」と言い、生徒に「my favorite sport」を繰り返させます。	・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1~4の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に名詞を1つずつ選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。 ・余裕があれば、〈can +動詞 +Japanese〉の形でも発音させ、意味を確認させましょう。
5分 (まとめ)	(① (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 正解を発音させます。宿 題 (①の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第25回

Lesson 25 「あなたのお気に入り の教科は何ですか」

ねらい

好きな教科について伝えたり、たずねたり答えたりできるようにする。

※会話編Book (Lesson 18のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L24 1 1 ((059) と ② (060) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(③ の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
10分	L25 (1) (061) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリン グ)→発音練習の順に行います。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・発音練習は一斉(1 文ずつ→1 発言[セリフ]ずつ)→ グループ(半分サム役、半分エイミー役→役入れ替え) のようにパターンを変えて何回も行いましょう。
15分	L25 ② (062) と③ (063) でロールプレイング練習をさせます。 最初に先生が見本を示し(②でサムのセリフ、③でエイミーのセリフを言う),次に生徒に行わせます(一斉)。何度か繰り返して暗記できたら,先生と生徒,隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。 arts and crafts「図画工作」,interesting「おもしろい」は初出なので,しつかり意味を説明します。	 ・最初はテキストを見ながら行わせ、慣れてきたら、テキストを閉じて暗唱させましょう。 ・ペアワークでは、Sam のところを相手の名前に変えさせましょう。 ・余裕があれば、ペアワークを発表させましょう。
10分	L25 4 (064) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 1と2について、発音練習をさせます。その後、先生と生徒、隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。 余裕があれば、自分の好きな教科を答えさせます。 国語 Japanese 算数 math 英語 English 理科 science 社会 social studies 音楽 music 体育 P.E. 歴史 history 地理 geography 図画工作 arts and crafts 家庭科 home economics 道徳 moral education 習字 calligraphy 総合的な学習の時間 integrated studies	 ・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次に音声を聞きながらテキストでつづりを確認させましょう。 ・1と2の発音練習は一斉(1 文→1発言[セリフ]→対話)→グループ(半分サム役,半分エイミー役→役入れ替え)のようにパターンを変えて何回も行いましょう。 ・余裕があれば、ペアワークを発表させましょう。 ・「好きな教科はない」という生徒には、示された教科の中で一番のものを答えさせましょう。
5分 (まとめ)	 (クイズ)に取り組ませ、答え合わせをします。 答え合わせのときは、最初に先生が選択肢を発音し、次に生徒に発音させて、意味を確認させます。 宿題 1~4の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること 	・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、L13 ② (p.30) に Oh, do you like dogs, Amy? が、L25 ② ③ に What is your favorite subject? と My favorite subject is arts and crafts. があることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・ ● (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第26回

Lesson 26 「副詞」

ねらい

副詞のつづりと発音を理解させる。 can't「~できない」という表現を理解させる。

※単語編Book①Lesson 19のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分(復習)	L25 ① (061) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリン グ)→一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、 小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしと し、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練 習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L26 ① ① (065) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) →発音練習の順に行います。 宿 題 (③の単語を書いてくること)を出します。 単語の書き方について,文字と文字の間は空けず,語と語の間は少し空けることを確認させます。 L26 ① ② (066) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「fast」 生徒「速く」) ・余裕があれば、ピクチャーカードを使って先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させましょう。(例 先生「「速く [ゆっくり]のカードを示して) Fast?」 生徒「Yes. Fast. [No. Slowly.]」)
15分	L26 ②の1 (can't swim) ~6 (draw a cat) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。動詞と副詞の語順が日本語と逆(日本語は「どんなふうに~する」という語順だが、英語は〈「~するどんなふうに」〉の語順)になることを確認させます。 can'tのaの発音について、canのaよりも強く長めに発音するよう注意させます。 各生徒に、最初に①②から緑色の枠の語【動詞】を選ばせて〈can't+動詞〉の形で発音させ、意味を確認させます。次に①①と②から黄緑色の枠の語【副詞】と draw 以外の緑色の枠の語【動詞】を選ばせて〈動詞+副詞〉の形で発音させ意味を確認させます。 反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が2のfast を slowly にかえて「run slowly」と言い、生徒に「run slowly」を繰り返させます。	・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1~6の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に単語を選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。 ・余裕があれば、〈can+動詞〉でも発音させ、意味を確認させましょう。 ・drink high「高く飲む」のような不適切な組合せが発表されても、「おもしろいね!」と言うにとどめ、否定 [修正] しないようにしましょう。 ・次のフレーズを繰り返させましょう。 ・次のフレーズを繰り返させましょう。 run fast come here walk slowly speak English well swim fast stay here run slowly play tennis well speak fast speak slowly
5分 (まとめ)	② (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 正解を発音させます。宿 題 (1)の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・⑥ (クイズ)に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第27回

Lesson 27 「名詞⑩」

ねらい

曜日を表す語のつづりと発音を理解させる。 時を表す副詞句を理解させる。

※単語編Book①Lesson 20のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L26 1 ((065) と ((066) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認((3 の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L27 ① ◆ (067) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング) →発音練習の順に行います。 宿 題 (③の単語を書いてくること)を出します。 単語の書き方について,文字と文字の間は空けず,語と語の間は少し空けることを確認させます。 L27 ① ◆ (068) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。(例 先生「Sunday」生徒「日曜日」) ・余裕があれば、ピクチャーカードを使って先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させましょう。(例 先生「「日曜日 [月曜日] のカードを示して〕Sunday?」生徒「Yes. Sunday.[No. Monday.]」)
15分	L27 2 の1 (on Sunday) ~ 6 (this week) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。 on は、あとにくる名詞によって「…の上」という意味で「場所」を表したり、「…に」という意味で「時」を表したりすることを理解させます。 各生徒に、最初に 1 ① から曜日を表す語【名詞】を選ばせて、〈on+曜日を表す語〉の形で発音させ、意味を確認させます。次に 1 ① と② から two, three 以外の紫色の枠の語【形容詞】と曜日を表す語【名詞】を選ばせて、〈everyかlastかnextかthis+曜日を表す語〉の形で発音させ、意味を確認させます。 反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が2のmorningを afternoon にかえて「on Monday afternoon」と言い、生徒に「on Monday afternoon」を繰り返させます。	・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1~6の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に単語を選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。 ・余裕があれば、6の〈this week〉でも this を every やlast や next に変えて発音させ、意味を確認させましょう。every week 「毎週」、last week 「先週」、next week 「来週」
5分 (まとめ)	() (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 正解を発音させます。宿題 (1)の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・⑥ (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第28回

Lesson 28 「名詞·形容詞③」

ねらい

数を表す語のつづりと発音を理解させる。 時刻の表し方を理解させる。

※単語編Book①Lesson 21のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分(復習)	L27 1 ◆ (067) と ◆ (068) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(3 の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
20分	L11 (1) (p.26) の one ~ ten の意味と発音を簡単に復習します。 L28 (1) (069) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング) →発音練習の順に行います。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人(順番)とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「eleven」生徒「11」) ・余裕があれば、21 [twenty-one] の発音を教えて、"Don't Say 21 Game"をしてみましょう。※
15分	L28 ②の1 (eleven o'clock) ~ 5 (eat fifteen strawberries) について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。時刻は〈時+分〉の順に数を表す語を並べて表すことを説明します。「11 時」のようなちょうどの時刻のときはo'clockをつけることを説明します。各生徒に、最初に①①から1 語を選ばせて、〈数を表す語+ students〉の形で発音させ、意味を確認させます。次に、L11 ①① (p.26) と L28 ①②から数を表す語【名詞】を選ばせて、〈時 (one ~ twelve) + o'clock か分 (one ~ twenty / thirty)〉の形で発音させ、意味を確認させます。反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、先生が見本として一部を変えた組合せを発音し、生徒に繰り返させます。たとえば、先生が2の thirteen を thirty にかえて「nine thirty」と言い、生徒に「nine thirty」を繰り返させます。	・最初はテキストを閉じて先生の発音に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・1~5の発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとしましょう。 ・各生徒に単語を選ばせて発音 [発表] させるときは、どういう意味か、意味が合っているかを他の生徒に答えさせたり、できた語句の発音練習を一斉で行ったりして、他の生徒も活動できるようにしましょう。 ・余裕があれば、〈数を表す語 + apples か girls か strawberries か students〉でも発音させ、意味を確認させましょう。
5分 (まとめ)	(① (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 正解を発音させます。宿 題 (①の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	 ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・正解の発音練習は一斉で行いましょう。 ・② (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

第29回

Lesson 29 「あなたは何時に起きますか」

ねらい

時刻について伝えたり、たずねたり答えたりできるようにする。

※会話編Book①Lesson 22のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L28 1 () (069) と () (070) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリング)→一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認((3)の単語を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、 小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
10分	L29 ① (071) の音声を聞かせます。 1~3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリン グ)→発音練習の順に行います。	・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・発音練習は一斉(1 文ずつ→1 発言[セリフ]ずつ)→ グループ(半分サム役、半分エイミー役→役入れ替え) のようにパターンを変えて何回も行いましょう。
15分	L29 ② (072) と③ (073) でロールプレイング練習をさせます。 最初に先生が見本を示し(②でエイミーのセリフ、③でサムのセリフを言う),次に生徒に行わせます(一斉)。何度か繰り返して暗記できたら,先生と生徒,隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。 What time「何時」,get up「起きる」,at「… (時) に」は初出なので,しつかり意味を説明します。	 ・最初はテキストを見ながら行わせ、慣れてきたら、テキストを閉じて暗唱させましょう。 ・ペアワークでは、Amy のところを相手の名前に変えさせましょう。 ・余裕があれば、ペアワークを発表させましょう。
10分	L29 4 (074) の音声を聞かせます。 1 ~ 3 回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 1 と 2 について,発音練習をさせます。その後,先生と生徒,隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。	 ・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次に音声を聞きながらテキストでつづりを確認させましょう。 ・1と2の発音練習は一斉 (1 文→対話) →グループ (半分サム役, 半分エイミー役→役入れ替え)のようにパターンを変えて何回も行いましょう。 ・余給があれば、自分のことについて答えさせ、ペアワークを発表させましょう。 例1 A: What time do you get up? B: I get up at six. 例2 A: What time do you go to bed? B: I go to bed at eleven.
5分 (まとめ)	 (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 答え合わせのときは、最初に先生が選択肢を発音し、次に生徒に発音させて、意味を確認させます。 〈Please +動詞~.〉「どうぞ~してください。」と〈Can you +動詞~?〉「あなたは~できますか。」は初出なので、意味を説明します。 宿 題	・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、L20 ② (p.44) に go to school が、L23 ② (p.50) に come to my house があることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・ ● (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点 チェック表」の色塗りをさせましょう。

第30回

Lesson 30「アクティビティ」

ねらい

範囲を限定して何が好きかをたずねたり答えたりできるようにする。 簡単な自己紹介ができるようにする。

※単語編Book①Lesson 5, 6, 18のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L29 ① (071) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンブリン グ)→一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認(音声を聞いた曜日に○がついているか)をします。	 ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
15分	L30 (1) について、 1 what color 「何色」、 2 what fruit 「何のくだもの」、 3 what subject 「何の教科」の意味を説明し、質問の内容を確認させます。 答え方を説明し、L7 (1) (017)、L8 (1) (019)、L24 (1) (059) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 L30 (1 1 2 8 の質問と答えの英文について、最初に先生が発音し、次に生徒に発音させます。 答えの空所は、L7 (1) (017)、L8 (1) (019)、L24 (1) (059) の中から適宜選んで発音させます。	・説明するときは、テキストを見ながらつづりと発音と意味を確認させましょう。 ・color, fruit, subject を強く発音するよう指導しましょう。 ・答えの英文で使う単語の発音練習は一斉で行いましょう。テキストは閉じて、音声に集中させましょう。 ・発音練習は、1文(質問の英文、答えの英文)ずつ行いましょう。質問と答えの英文は一斉→半分質問する側、半分答える側→質問する側と答える側を入れ替える…のようにパターンを変えて3回繰り返しましょう。
5分	生徒を1人指名し立たせて、先生に 1. 2. 3 の質問をさせ、先生が次々と答えていきます。次に先生が生徒に 1. 2. 3 の質問をし生徒に答えさせます。 テキストの表に、先生の答えと、指名されて答えた生徒の名前と答えを記入させ、聞き取った情報を書きとめる作業をさせます。次に「自分」の欄に自分の答えを書かせます。	 ・アクティビティの見本としたいので、反応のよい生徒を選びましょう。 ・他の生徒にはテキストを閉じさせて、先生と生徒のやりとりを聞くことに集中させましょう。 ・表への記入は、生徒の習熟度に応じて、日本語か英語か併記かを指示しましょう。
5分	生徒同士のペアワークで L30 1 1. 2. 3 の質問と答えのやり取りをさせ、表に記入させます。	・なるべくテキストを見ないで質問したり答えたりするように促しましょう。・机間巡視で表の記入を確認しましょう。
5分	L30 ②の見本として、先生が英語で自己紹介 [発表] を します。意味を確認させます。 先生の発表内容で、発音練習をさせます。	・発音練習は一斉で行いましょう。・テキストを見ないで言えるように、1文ずつ→2文ずつ→全文の順に練習させましょう。
10分 (まとめ)	最初に各生徒に着席させたまま小声で自己紹介 [発表]の練習をさせます。生徒の習熟度に応じて、4線に今書くか、家で書くかを指示します。 次に、やりたい生徒に挙手をさせて指名し、立たせて自己紹介 [発表]をさせます。他の生徒には聞き終わったら拍手をさせます。	・自己紹介 [発表] の練習のときは、最初はテキストをちらちら見ることを許しても、最終的には暗記させてテキストを見ないで言えるようにさせましょう。 ・名前を書くときは、「ローマ字いちらん」(p.67) で確認させましょう。

※授業が31回できる場合は、Lesson 30を2回に分けて行います。第30回は①(ペアワークをさせて表に記入させるところまで)を行い、第31回は②(先生が見本として英語で自己紹介[発表]を行い、生徒に自己紹介[発表]をさせるところまで)を行います。